

令和4年度第2回狭山市上下水道事業審議会会議録

開催日時	令和5年2月7日（火） 午後2時00分から午後3時30分まで
開催場所	入曽地域交流センター 大ホール
出席者	岩田会長、久保田副会長、橘委員、水田委員、天野委員、大野委員、清水委員、滝口委員、中山委員、新居委員、目代委員、持田委員
欠席者	五十子委員
事務局	池内上下水道部長、金子上下水道部次長（下水道施設課長兼務） 経 営 課：諸口課長、篠原主幹、小川主幹、小坂主査、田中主任 柚原主任、西脇主任、前田主事 水 道 施 設 課：内山課長、高橋主幹、後藤主幹、石井主幹 下 水 道 施 設 課：市川主幹、荻野主幹、渡邊主幹
傍聴者	無 し
報道関係者	無 し
議 事	(1) 令和5年度狭山市水道事業会計予算（案）の概要について、資料をもとに説明。（公開）
質 疑 委 員	今年2月に多摩地区の井戸水で米軍の泡消火剤に含まれるPFASという有機フッ素化合物が大量に検出された件について、入間基地に新たに水を供給するのにあたり、関係性はあるのか。
事務局	本市の水道水については、県水と入間川からの水を合わせて使っている。各水道施設では、国の水質基準項目に準じ定期的にPFASについて検査をしており、検査結果については、目標設定項目の目標値をクリアすることで、安全性の確認を行っている。また、排水については、現在、入間基地に関してはトイレ等の生活排水であるため、特に水質検査を行っていない。有害物質が含まれる排水を行う場合は、入間基地が除害施設を設けた上で、市へ届出が提出されることにより、水質基準に適合しているかどうかの水質検査を行うこととなる。
議 事	(2) 令和5年度狭山市下水道事業会計予算（案）の概要について、資料をもとに説明。（公開）
質 疑 委 員	一般会計からの繰入金の上限やルール化については、どのようになっているのか。
事務局	平成28年に下水道の経営戦略を作成して、そこでルール化をしている。平成38年度（令和8年度）までの10年間については、一般繰入金については上限額として10億円を、財政部局と調整した上で予算計上させていただいている。

- 委員 下水道施設の稼働率というのはどのくらいなのか。
- 事務局 市の下水道は流域下水道に接続をしており、施設等を持っていないため、水道のような稼働率などの指標はない。維持管理で主に使う費用については、管路の更生や入れ替えについての費用である。
- 委員 経営基盤の強化ということで不明水対策について、計上しているが、調査を行う費用を計上するのではなく、実際に工事を行ったほうが良いのでは。
- 事務局 不明水対策については、調査及び現場で蓋を換える費用について計上している。汚水管工事については、ストックマネジメント計画を策定し、次年度に工事を実施する予定である。
平成28年度の経営戦略計画において、有収率に関して、水道は令和8年度までに95.1%以上を目標とし、下水道の不明水対策に関しては、令和8年度までに87%以上を目標に掲げて目標に到達するよう努めている。
- 議 事 (3) その他 狭山市水道水の航空自衛隊入間基地への供給について資料をもとに説明。(公開)
- 質 疑
- 委員 入間基地内の現在利用している井戸と入間川からの取水について、今後の使用予定について伺いたい。
- 事務局 入間基地内の井戸についてはいくつかあり、これからも使用するが、入間川からの取水については、施設が老朽化しているため今後使わないとのことである。
- 委員 災害時の入間基地における対応について伺いたい。
- 事務局 一般市民が入間基地内に入って給水を行うということはないが、自衛隊より、給水車による支援活動を行う。
- 委員 狭山市の水道ビジョンにも記載されている、「危機管理に対する強化」を図るうえで、県や入間基地とどのように連携していくのか。
- 事務局 基地との協定が結ばれた際には、基地があるので優先的に水を供給してもらえないかを県へ要望していく。
- 委員 災害時や緊急時に入間基地の水道使用量が増えたとき、市民にどんな影響が及ぼされる可能性があるのか。
- 事務局 入間基地より申告された一日の最大給水水量を基に、稲荷山配水場と水野配水場の供給能力を考慮した水量を入間基地内にある受水槽へ

供給する予定である。仮に水量が増えたとしても、受水槽の容量を超えることはないため、市民生活への影響はないものと考えている。

委員 入間基地は有事の際にも重要な拠点であるので、十分多面的な検討を行い、厚生労働省への認可申請に臨んでいただきたい。

議 事 (3) その他 浄配水施設の耐震に関する工事期間及び工事費の変更について資料をもとに説明。(公開)

質 疑
委員 コンクリートの厚さを変えないで鉄筋を補強する方法について教えていただきたい。

事務局 耐震補強について、水底版に、アンカーのように鉄筋をたくさん打ち込むことで版の補強を計画している。

委員 柏原浄水場の酸化池が壊れたら柏原浄水場の機能はどうなるのか。また、柏原浄水場の機能が停止した場合は、どのように対応するのか。

事務局 柏原浄水場の水源には、市内に7本の井戸があり、酸化池は、原水である井戸水と次亜塩素酸ナトリウムを混ぜるという機能である。酸化池が損なわれてしまうとその処理ができなくなり、浄水処理もできなくなる。また、柏原浄水場が停止した場合については、柏原浄水場の配水エリアは、笹井配水場の配水エリアに含まれているため、笹井配水場から配水することにより対応する。

議 事 (3) その他 狭山公共下水道事業計画変更案の縦覧について資料をもとに説明。(公開)

質 疑 なし

その他事項

質 疑
委員 近年、電気代の高騰により、施設に係る経費が増大しているが、水道料金や下水道使用料を値上げすることが今後あるのか。

事務局 水道施設の電気料はかなり高騰している。事業を少しずつ先延ばしし、平準化することで赤字が出ないような形で今の予算を組み立てている。県水の単価が、令和6年度まで据え置きとなっているため、令和6年度までは、料金の値上げは、無い予定であるが、令和7年度以降に県水の単価の値上げ額によっては、料金改定せざるを得ない状況に陥る可能性もある。

他に質疑はなく、会議は全て終了となる。